

# 進路ニュース

2022年度 5月号 No. 283



茨城県立土浦湖北高等学校

進路指導部

入学・進級から1か月が過ぎました。新担任との面談も終わり、土曜日や放課後の課外授業も始まりました。新年度が本格的にスタートした今、改めて今年度の目標を思い起こしてください。その目標達成のために、今すべきことは何か？自分の現状と課題を把握し、毎日の授業や家庭学習にどう取り組むべきか考えてみてください。また、今月は定期考査Ⅰが実施されます。1年生にとっては初めての定期考査となります。しっかりと対策をして試験に臨んでください。

## 〈1年生へ〉 ～ 予習→授業→復習 のサイクルで高校レベルの学習スタイルを身に付けよう ～

高校の授業はどのように感じましたか。どの教科もまだ高度な内容にはなっておらず、中学までの“学力貯金”もあって、比較的理解できていることと思います。学校にも慣れて緊張感が薄れるに従って、学習に対する取組みが疎かになる人が出てきます。決して油断することなく、余裕のある今のうちに**予習→授業→復習のサイクル**を身に付けることです。そして定期試験や模擬試験を勉強のペースメーカーとし、目標を立てて家庭学習の充実を図ってください。なお、部活動の試合で授業を数回抜けたことがきっかけとなり、授業がわからなくなってしまうことがあります。そのままにしておくとその教科が苦手となり、文理選択や将来の進路選択にも影響します。家庭学習をしっかりとすることや、友達や先生に質問するなど、個別に必要な対策を取ってください。好きな部活動をしているのですから、学習面でもそれに見合った努力が必要です。

## 〈2年生へ〉 ～ 勉強の質の転換と進路研究を ～

課題考査の結果はどうでしたか。部活動や生徒会活動で中心となる一方、授業内容も文系・理系それぞれの専門的分野が加わって難易度も高くなっていきます。**覚える勉強から考える勉強へ**と質の転換が必要です。“時間が足りない”と感じている人も多いのではないのでしょうか。先輩の受験体験談や1年生の経験と反省を生かし、**優先順位を付けて**学習計画を立ててください。オープンキャンパスやインターンシップ、看護体験等への参加など、進路研究も必要です。中堅学年としてタイムマネジメントをしっかりと行い、授業・部活動・受験対策と中身の濃い高校生活を送ってください。

## 〈3年生へ〉 ～ 逆算してプランニング、夏までは授業中心の学習で ～

公務員希望者は6月から、就職希望者は7月から、申し込みや試験対策がスタートします。担任の先生との面談や保護者の方との話し合いをしっかりと行い、一つ一つ確認しながら準備を進めてください。進学希望者は、総合型選抜や学校推薦型選抜、一般選抜などの様々な入試方法を研究しましょう。また、入試科目の検討と受験に対応できる基礎固めをする必要があります。そのために、**夏までは授業中心の学習とし、苦手分野の克服と基礎力の完成**を目指してください。

## 《 5月の進路関係行事 》

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 7日(土)         | 看護・医療系模試(3年) |
|               | 土曜課外(1～3年)   |
| 10日(火)・13日(金) | 進路ガイダンス(3年)  |
| 18日(水)～20日(金) | 定期考査Ⅰ(1～3年)  |
| 24日(火)・27日(金) | 就職・公務員模試(3年) |
| 28日(土)        | 実用英語検定①      |
|               | 進研マーク模試(3年)  |



## ☆ 進学情報 ～高校生に人気の分野～

### (1) 栄養系

食品や食事に関する栄養価が人間にどのような影響を与えるのかを科学的に研究する学問が「栄養学」だ。栄養学の主な科目には、食品学や食品加工学、調理学などがあり、人々が健康に生活し、成長していくために必要な栄養素の分析や食品それぞれの栄養価などについて学んでいく。近年は医療現場における栄養士や管理栄養士の活躍が目立っている。偏った食事によって生活習慣病に罹患するリスクが増加していることが理由の一つとして挙げられる。患者に対する日常的な栄養指導や栄養管理を行うことで、食生活や生活習慣の改善に貢献している。また、フードスペシャリストや食生活アドバイザー等の資格取得者の需要も増加傾向にある。大学では、環境や福祉などの隣接領域について学ぶことも多く、卒業後は給食センターや病院、学校、保健所など、さまざまな場所での活躍が期待される。

### (2) 心理系

人間や動物の心のメカニズムを科学的に解明していく学問が「心理学」だ。実験・観察・調査などを用いて、意識や行動、感情といった動きを分析・研究していく。研究によってはコンピュータによる統計学的手法を用いることもあるため、数学的素質も必要になる。心理学の資格と言えば、従来は民間資格の「臨床心理士」が存在感を放っていたが、平成29年に公認心理師法が全面施行されたことを受けて、現在は国家資格である「公認心理師」を目指す人も少なくない。厚生労働省によると、令和3年9月に実施された「第4回公認心理師試験」は2万1,055人が受験し、1万2,329人が合格。合格率は58.6%となっている。心理学系の資格を取得した人たちは、学校や企業、病院などのさまざまな場所でカウンセラーとして活躍しており、ストレス社会と言われる現代においてはますます期待が高まるに違いない。

### (3) スポーツ系

スポーツが身体にもたらす影響を中心に、コーチング理論やスポーツを取り巻く環境などを科学的に考察・研究するのが「スポーツ学」だ。医学や生理学、栄養学や心理学をはじめ、経済学や社会学などの他分野と関連づけて学修するケースも珍しくはない。令和3年には東京オリンピック・パラリンピック、今年には北京オリンピックが開催され、11月にはサッカーのワールドカップがカタールで開催される。オリンピックやワールドカップのような世界規模のスポーツの祭典は、巨額の市場規模が見込まれ、ビジネスチャンスと捉える企業は多い。スポーツ学を学んだ学生は、プロスポーツ選手やインストラクター、アスレティックトレーナー、体育教員、スポーツメーカー社員など、スポーツに関わる仕事を目指す人が多いのが特徴だ。

参考：「大学新聞」